

町報

1997
4月

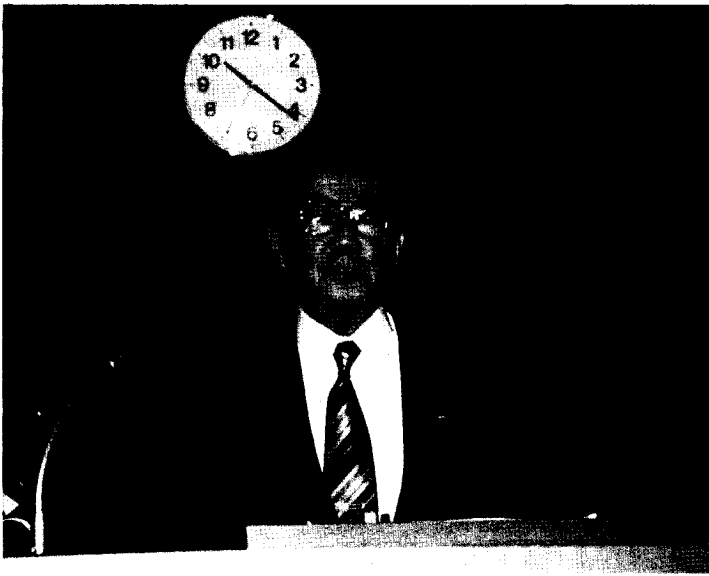
No.313

こうふ

「名前を呼ばれた園児は、
元気よくお返事をしてください」

「ハイイ！」

(子供の国保育園 入園式)



平成9年度
予算

「自然とふれあう

輝きの町・江府町」

一般会計 36億1,000万円

特別会計 19億9,783万円

平成九年度一般会計、特別会計予算が三月二十四日に議会で可決・承認されました。総額五十六億七百八十三万一千円（前年対比十一・九％増）の予算。その概要と町長の施政方針の一部を紹介します。

平成九年度予算案を本議会に提出するに当たり、その概要と提案理由並びに所信の一端を申し上げ、本議会を通じ、町民皆さんの深いご理解と更なるご協力をお願いいたします。

平成九年度の予算編成に当りましては、本年七月四日任期満了の町長、町議会議員の改選の年であり、本来なら骨格予算とすべきが常道であります。ご承知の通り国県助成による継続事業実施の最中

であり、年度はじめの申請事務協議等も検討いたし、積極的実施型予算といたしました。初めに町議会をはじめ町民皆様のご理解をいただきたいと存じます。いま、かつてみない政治、経済、社会の激動に加え、天災、人災多発等の内外共に厳しい現状のなか、議会ご当局をはじめ、町民各位の積極的なご協力と総参加のもとに、国、県の信頼と支援もいただき、お見かけの通り、全町にわたり二十一世紀にむ

けての新しい町づくりの輪が広がって参りました。また、自治体の垣根をこえた広域行政、一部事務組合の創設等々町発足以来四十余年、町が大きく変わろうとする大型継続事業が山積いたしております。ここに謹んで町議会をはじめ町民各位に敬意と感謝を申し上げます。

二十一世紀にむけて

加えて、第三次江府町総合計画実質のスタートの年を迎え、更に二十一世紀を間近にひかえ、社会情勢は、少子化による人口減少と、高齢化、情報化、国際化、地方の時代（地方分権）が急激に進むなかで、町民のニーズも複雑高度化、多岐にわたり身近な地域課題も深刻化して参りました。今後これらの動きは一層、進展するものと存じます。この様な地方自治体をとりますく厳しさと競い合う中ここ数年間に建設大臣「手づくりふるさと賞」受彰、同年、成人病対策等の各受診率の画期的向上による厚生大臣表彰か

ら、自治大臣初の自ら努力する「町づくり」顕彰、更に、防災計画見直しが全国的緊急課題の中に、消防団最高表彰「まとい」受賞等々の栄光に輝きました。

他町ではみられない連年の中央省庁表彰、特に中国五県の中で、唯一本町が連続自治省関連顕彰の感激は大きな誇りと、励みであり自信として肝に銘じ、深く心に刻み、国、県ご当局の深いご配慮とご厚意、期待に応えねばならないと存じております。私は、いま、国会において公共事業費を中心とする行財政構造の見直しが迫られているなかで、自主財源の乏しい、公共事業依存度の高い本町としては、可能な限り新年度事業の早期認定協議のなかで高率補助、更に有利な起債等積極的に模索し、辺地、過疎むらづくり事業債の活用承認等、行財政運営執行上の収支構造の厳しさに真正面から取り組み、確かな見透しの上に立った、財源の有効配分にも配慮しながら積極予算を編成し、引き続き新しい時代を展望した、快適な町民生活の安定、健康福

祉向上にむけ全力をあげて取り組み決意であります。

財源確保

また、本予算におきましても、財政の簡素化と食糧費物件費等の見直しによる経費節減合理化も進め、限られた財源の重点的、効率的な節度ある健全な財政運営にも配慮いたしております。

保野川発電に係る資産税につきましては、前年対比六・二二%の伸びをみておりますが、これは四号機に続いて三号機の運転開始によるものであり、半面、全町の財政力指数はわずかに伸びましたが、なお厳しい状況にあります。いま、継続大型事業に加え、近き将来、庁舎をはじめ診療所を含む保健センター、日野病院改築、文化施設等大型施設の財源問題、更に地方分権と本格的な高齢化社会を迎え財政需要の拡大等、将来にわたり厳しい財政事情を常に念頭におき、後世に大きな負担を残さないため公債残高にも意を注ぐとともに、先の平成

七年国勢調査結果により、本年四月から過疎振興地域再指定となり国の財政支援も決定的となりました。従って可能な限り過疎対象適用可能事業について財政配分も優先配慮いたしております。

町の活性化は人づくりから

歳出につきましては、町の活性化は内発力、即ち、人づくりに始まり人づくりに終るとまで言われております。先

ず人づくりを柱とし、「自然とふれあう輝きの町・江府」を念願し、上下水道、ごみ処理場及び交通網等の生活環境社会資本の整備をはじめ、産業振興基盤整備、文教振興、福祉、保健地域医療の一体的充実、更に日野病院健全運営等、継続事業を中心として配分いたしております。一方、自主的、主体的に創意工夫による、自ら汗を流して取り組む町単独事業も引き続き実施して参ります。そのためには、地方行政の基本であります主権者町民皆さんの積極的町政参加が今こそ大き

な役割であり、町おこしの原動力として強く求められ期待をいたしております。

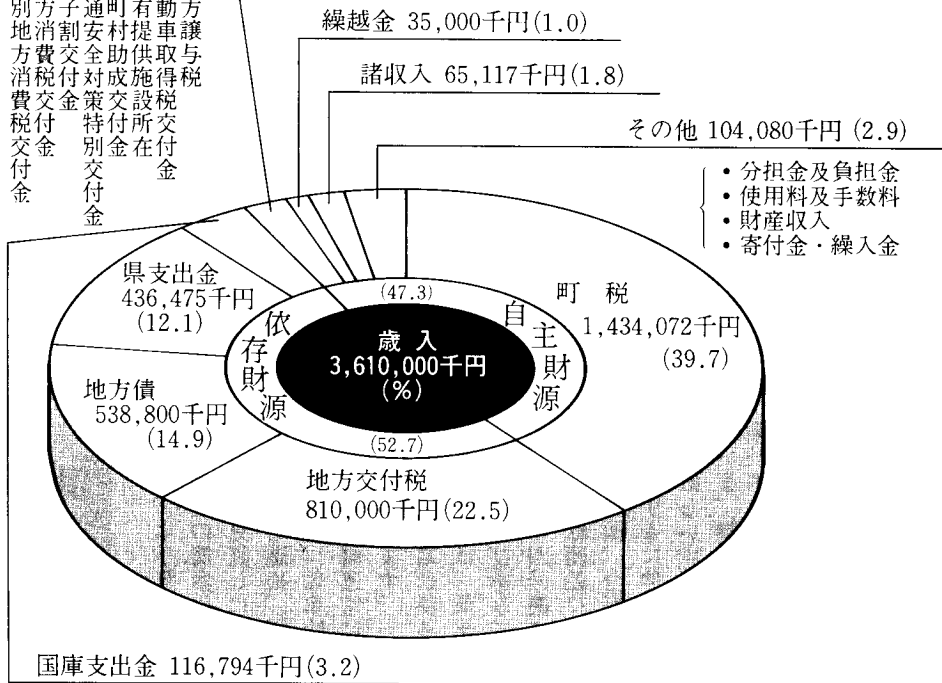
従いまして、これが執行に当たり、町政担当の基本理念であります、町民参加による公正で誠実、開かれた心の通い合う行政を深く心に刻み、内外激動と変革の進むなか、地方自治確立のため行財政共に足腰の強いふるさと江府町を念願し、一層の努力をお誓いいたすものであります。ここに平成九年度一般会計歳入歳出予算として総額三十六億一千万円（前年対比一〇七・五〇%）の予算を編成、上提いたしております。

更に、別途特別会計の十四会計歳入歳出予算として、十九億九千七百八十三万一千円、一般会計と合せ、五十六億七百八十三万一千円、前年対比一一・九五%増となります。（単純計算によりましても町民一人当たり約百二十七万円強、一世帯当たり四百五十四万円となっております）何卒、本議会を通じまして、町民皆さんの深いご理解とご協力を重ねてお願いを申し上げます。

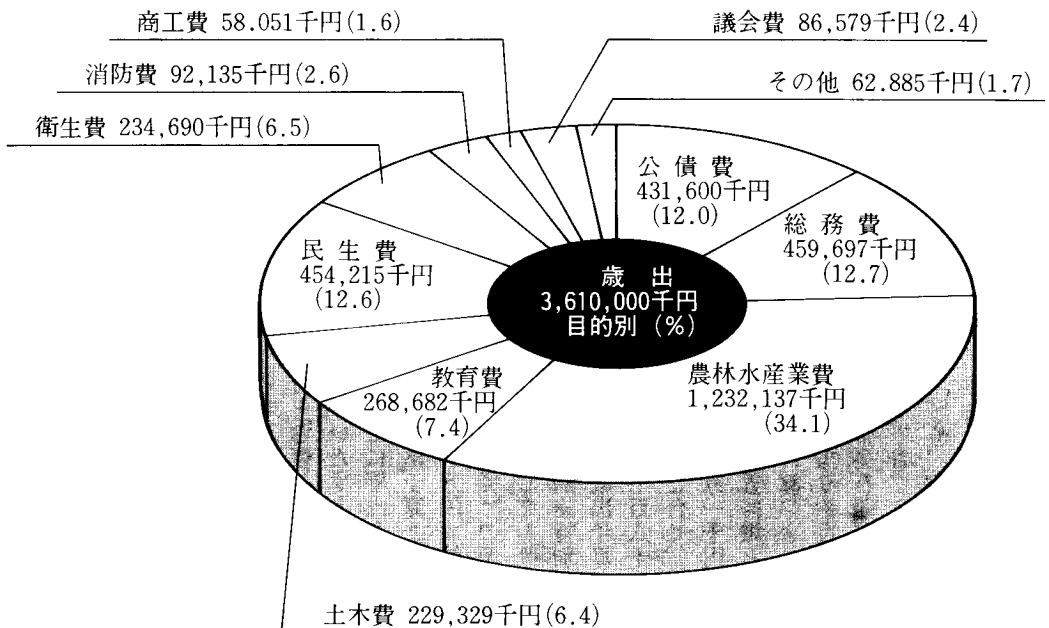
平成9年度 一般会計予算概要

その他 69,662千円(1.9)

- 地方譲与税
- 地方交付税
- 国庫補助金
- 市町村交付金
- 交通支拂金
- 土地改良費
- 特別交付金
- 地方債
- 地方消費税
- 特別交付金



国庫支出金 116,794千円(3.2)



□総務

●新庁舎建設については、高規格道路のルート等を見極めながら特別調査委員会とともに方向性の検討を行う。

●交通事故防止を図るため、関係団体と協力し啓発活動を推進する。

●防火水槽、小型消防ポンプの設置を行う。

□同和对策

●昨年実施した生活実態調査の分析をするとともに、人権啓発に努める。

□企画開発

●企業誘致の早期実現に向けて造成工事に着手するとともに誘致に努力する。

●若者定住と後継者対策については、江府町若者定住対策協議会と協議し具体的事業の展開を図る。

●ふるさと大山ふれあいリゾート構想に基づく大河原地区整備計画については、住民の皆さんの理解と協力を得るよう努力する。

□観光

●七月から境港市で開催される「山陰夢みなと博覧会」に参加し奥大山チロルの里のピナーールを図る。

□福祉保健

●シルバー人材センターを設立する。

●在宅介護支援センターを拠点とする緊急通報システムの導入 八年度実績 四〇箇所 九年度計画 一〇箇所

●本格的な高齢化社会に対応するため在宅福祉の充実を図る。

●診療所における地域医療・保健・福祉の一体的連携充実を図る。

●子供の国保育園において特別保育事業の一環として郷土文化伝承事業に取り組み。

□農林振興

●昨年十一月に施行になった「主食安定法」に合わせて、市場原理の導入に地域の自主性を活かした生産の体質強化を図り、活力と潤いのある農業農村づくりに努める。

●県営ほ場整備事業

江尾宮市地区

用水路 一、二〇〇畝
農道舗装 二、〇〇〇畝
集落道 三〇〇畝

下蚊屋地区(笠良原)

用水路 二、〇〇〇畝
日光地区 二、〇〇〇畝

吉原 区画整理 四・〇畝

袋原・西成

(仕上げ) 二〇・一畝
大原地区 区画整理 九・一畝

美用地区 区画整理 六・〇畝
用水路 一、一三〇畝

農道 一、六〇〇畝

●町営ほ場整備事業
久連地区 区画整理 四・〇畝
仕上げ 六・〇畝

●県営林道開設事業
宝仏山線 五四〇畝

●町営林道開設事業
杉谷貝田地区 四〇〇畝
下蚊屋地区 三〇〇畝

●環境整備
江尾地区簡易水道と第一共同簡易水道の施設統合を行う(九・十年度継続)

●米沢地区営農飲雑用水施設、貝田地区営農飲雑用水施設および川筋地区簡水増補改良の完成により、本年度から町営直轄管理とする。また、高科金施設の対策として柿原・袋原についても町営直轄管理とする。

●町営農業集落排水事業
下蚊屋地区(三十七戸)
処理施設一棟

助沢地区(二十戸)

処理施設一棟一式
管路工 六〇〇畝

●江尾地区(本一、五、新一、二、小江尾、久連、佐川)

●特定環境保全公共下水道事業
処理場基本設計
実施設計
管渠工 六五〇畝

●米沢、明倫、俣野の各小学校にパソコンを導入し学校教育に活用する。

□建設

●町道改良
俣野宮市線(宮市工区) 他

□学校教育

●各学校で行っていた米飯給食の炊飯を、給食センターでの一括対応とする。

●いじめ、不登校等昨今の教育事情に対応するため相談員を配置する。

平成9年度 特別会計

●国民健康保険(事業勘定)	310,162千円
●国民健康保健(施設勘定)	76,158千円
●老人保健	614,252千円
●簡易水道事業	221,689千円
●農業集落排水事業	376,200千円
●住宅新築資金等貸付事業	7,689千円
●特定環境保全公共下水道事業	94,900千円
●江尾財産区	2,000千円
●神奈川財産区	1,410千円
●米沢財産区	3,991千円
●笠良原市民農園	10,817千円
●奥大山の水処理加工施設	2,700千円
●甘酒茶屋運営事業	184,658千円
●索道運営事業	91,205千円

あれこれ

長い間ご苦勞様でした

消防団長田口 茂氏退団

三月三十一日付けで、町消防団の田口 茂団長が退任されました。

田口さんは、昭和十六年に消防団の前身である警防団に入団依頼、本町の消防防災活動の中心として活躍され、昭和五十六年からは団長として、団の統率にあたられるとともに、日本消防協会理事、鳥取県消防協会副会長などを歴任され、本町消防団が全国に誇る輝かしい伝統を築いてこられました。

なお、後任の団長には芦立喜明副団長が着任されました。



芦立喜明新団長



田口 茂 前団長

春の全国交通安全運動街頭指導

～「事故は、だ～餡!!」～



「交通安全」は、みんなの願いです

四月六日から十五日まで行われた、春の全国交通安全運動期間中の四月九日、江府町交通安全対策協議会と交通安全母の会では、無事故の願いを込めて「餡」と「チューインガム」の配布を行いました。
暖かい気候による、居眠り運転の防止が目的で「事故はだ～餡」と、道行くドライバーに交通安全を呼び掛けました。

江府町女性問題 地域推進会議講演会開催

三月二十八日、山村開発センターにおいて、町と江府町女性問題地域推進会議（大塚和子会長）主催による講演会「今、輝いて、女と男」～生き生きしていますかああなたの毎日～と題した講演が行われた西村博範さん



「男性との共生の中で」～女性の生き方～と題した講演を行われた西村博範さん

「今、輝いて、女と男」

～生き生きしていますか

あなたの毎日～